

2026 年度 出題の意図

科目名：英語

本試験は大問 4 題で構成され、配点は 150 点である。大問 1 は【読解問題】であり、新聞・雑誌記事や人文・社会・自然科学分野の英文を読み、筆者の主張および主要な論点を的確に把握する力を測定する。大問 2 は【会話文読解問題】で、実際の会話場面を想定した英文を通して、口語的表現を適切に理解する能力を問う。大問 3 は【日本語による要約問題】であり、英文エッセーの内容を正確に理解したうえで、問いで提示される 3 つの要点を含む 150～180 字以内の日本語によって簡潔かつ的確に要約する力を測定する。大問 4 は【英作文問題】で、提示された問いに対し、正確な文法かつ多様な語彙を用いながら、100～150 語程度の論理的な英文を構成する能力を評価する。

大問 1 および 2 はマーク式、大問 3 および 4 は記述式とし、特定の話題や分野に偏らない出題とすることで、既有知識のみに依存せず解答できる構成としている。また、5 日間の試験問題全体において難易度の均衡を図っている。

本試験は、受験生が高校までに身につけた基礎的な英語力を確認するとともに、大学で求められる実践的な英語運用能力——すなわち、読む力・書く力、ならびに講義やディスカッションへの参加に必要な総合的能力——を測定することを目的とする。そのため、全体を通して、多様な英文から必要な情報を読み取る力、日本語で正確に要約する力、さらに英語で論理的に表現する力を総合的に評価する内容としている。